

「じゃがいものうち」通信 NO.58 2008.9.18

～ 障害者と共に生きる仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間136-6

Tel./Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL: <http://www.minc.ne.jp/npo-jaga> 代表 松田 正

社会保障って何だろう？

「じゃがいものうち」と関わり、また一障害児の親として時々考えることがあります。社会保障って何だろうって。

赤ちゃんからお年寄りまで、ばりばり働ける人から働きたくても働けない人まで、世の中いろんな人と共に生きてるわけで、そんないろんな人が共に生きていくためにはルールが必要です。

国の基本的なルールとして憲法があり、それにはただ生きるだけじゃなく『健康で文化的な最低限度の生活』を、すべての国民が実現出来るようにと国の役割が書かれています。(憲法ってそんなすばらしいものなんです!)『健康で文化的な最低限度の生活』を実現する具体的な方策として社会保障制度(社会保険、社会福祉、公的扶助、公衆衛生)があります。

その社会福祉制度の中には、身近なものでいうと、社会保険の中に、国民健康保険や年金、雇用保険や介護保険などがあります。又、社会福祉には障害者や老人、児童、母子に対するものがあり、公的扶助とは生活保護のことをいいます。

そんな大切な社会保障制度が、最近ずたずたに壊されてしまって、様々な弊害・不安・不満が続出しています。たとえばワーキングプアといわれるように、働いても収入が少なく自分で食べていくことさえ出来ない、そんな人がどんどん増えてきたと、毎日のようにテレビでも言われています。また、お金の掛かる正規雇用を減らして、保険などの要らない非正規雇用が、働く人の1/3を超したと今の労働環境の姿です。介護の労働者に一般労働の60%しか給料を払えない介護保険の事業費、お金が掛かるからと『末期高齢者医療制度』と揶揄される後期高齢者医療制度などに現れています。

働き方(働かされ方?)の変化といっても不安定な雇われ方というだけにとどまらず、年金や健康保険に入っていた正規雇用者が減ったことで、その年金や健康保険制度まで危機に陥れているように、ほかのいろんな面にも多大な影響を及ぼしています。

その反面、実感の伴わない長期のプラス成長とかで、労働者の経費削減(非正規雇用の拡大)や優遇税制で大企業は過去最高の利益、その恩恵に浴しているのは一部の投資家のみという実態があります。

何か変だとは思いつつ、気がつけばこんなことになっていたというのが、多くの人の実感じゃないでしょうか。誰もが住みやすい社会にしていくためには、大人の責任として、世の中の動きにもしっかり目を向けて、必要な時には声を上げる事の大切さを最近特に感じています。

利用者の希望に添えるような介護をするためにも、自分と子供たちの未来のためにも。

(松田正)

開所式

7月1日、待望のミニデイサービス“みんなのうちの”開所式を行いました。事業所の都合もあり平日ではありましたが、多くの方に参加・お祝いをいただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。皆さんから多くの期待と激励のお言葉を頂きました。これからはその多くの期待に応えられるよう、また私たちの理想の実現に向けてより一層努力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。お近くにお越しの際には、是非お立ち寄り下さい。スタッフ一同お待ちしております。



みんなのおうちコーナー

スタッフの交代

当初、デイサービス事業では必ず必要な管理者として松田正、生活指導員として松田咲美、機能訓練指導員（看護師兼任）として長瀬富美子（長瀬は9月いっぱい日曜日出勤できないので補充として沼田澄江）のメンバーでスタートしました。沼田はそらみちゃん同伴で頑張っていました。7月上旬懐妊され退職。今は、あん摩マッサージ指圧師の四宮に日曜日をお願いしています。

（松田正）

利用者第一号

7月の初め位から「みんなのおうち」を使わせてもらっています。昔から言っているようなところができて新しい生活のリズムにも最近少しずつなれてきました。時々来る人もいます。僕にとっては看護師さん二人なので安心です。みんなも遊びに来て下さい。

（楯水生輪）

スタッフから一言

早3ヶ月

約一名の利用者と共におしゃべりし、笑いの中で過ごしているうちにはや三ヶ月が過ぎてしまいました...

スタッフのジョークの炸裂に日々鍛えられ、私もなかなかナイスジョークをかませる様になりました。楽しみにしてくださいね。季節の花を飾り、おいしいご飯を用意してお待ちしています。

どうぞご利用ください。（長瀬富美子）

機能訓練って何だろう？

沼田さんのピンチヒッターとして、8月より日曜日に勤務しています。

機能訓練というと、身体にハンディーを負った人が病院や施設で、社会復帰を目指して少々ハードなプログラムを長期にわたり、歯を食いしばって努力をしている姿をテレビなどで紹介されています。確かに症状は改善され成果も上がっているようですが、「みんなのおうち」では毎日少しずつ体を動かし、頭を使うことによって自然に症状が楽になり、その状態を維持していける様なプログラムを考えます。またこれが高齢者に一番必要な転倒予防につなげていければと思います。あれも出来ない、これもダメというのではなく、あれもやってみたい、これは出来るかなという前向きな思いや行動を、積極的にサポートして行ければ嬉しい限りです。

（四宮英代）

気軽にお立ち寄りください

現在、制度を使われている方はおひとりの状況です。でも「みんなのおうち」が立ち上がったことを喜んでくださっている、期待してくださっている、心を寄せていただいていると、立ち寄ってくださる方、差し入れをしてくださる方たちを通じ感じています。行くのが楽しみとっていただけるデイサービスを思い描きながら、日々私も楽しく過ごさせていただいています。（松田咲美）

“みんなのおうち”って、こんなところですよ

身近なところに、こんなところがあれば老後も安心！そんな、多くの人の思いで“みんなのおうち”は出来ました。「住み慣れたところで、親しい人と顔を合わせながら、老後を暮らす」、そんな当たり前の希望を実現するために“みんなのおうち”は作られました。

年をとれば次第にできないことが増えてきて、誰でもサポートが必要になります。そのサポートの形も、それまでの生活の形が、それぞれ違うように百人百様です。そんな時、どんなところが私の希望に答えてくれるのだろうか、そんなところがあるのだろうか、不安な気持ちになってしまうと思います。本人だけでなく家族も同じ気持ちだろうと思います。そんなサポートが必要になった人に寄り添ってきちんと要望を伺いその要望にしっかりと応えていく、それが“みんなのおうち”の役割だと思っています。

大きな特徴は、障害者にも同じように門戸を開いていることです。これは新聞（南日本新聞7月5日付け）にも報道されたように、鹿児島県内でも2カ所目の施設です。じゃがいものおうちでは「どんな障害があっても、共に暮らしていける社会」を作ること目標にしていることからすれば、当然のことでもあります。障害があるが故にサポートを必要とする人もどうぞご利用ください。

（相談は“みんなのおうち” TEL47-2357、または、管理者：松田正 090-3463-6372 までお気軽に）

屋久島に初めて出来た障害者の施設。オープンして5ヶ月経ちました。

障害者就労継続支援事業所 『屋久の郷』



4月にオープンした障害を持った方々に日中活動の場を提供する施設で、社会福祉法人愛心会（理事長 徳田秀子）が運営しています。

定員は20名で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している方が利用できます。活動日は月曜日から金曜日で、活動時間は午前9時から午後4時までです。

施設の無料送迎車が朝と夕に栗生方面と永田方面に出ています。

作業グループを紹介します

CaféRest『陽だまり』

厨房内で盛り付けやサラダ作り等をしてい利用者1名、ウエイター・ウエイトレスとしてお客様に注文の品を出したり、後片付けをしたりしている利用者が4名です。みんな明るく、元気よく、そして楽しく毎日張り切っています。



パン工房『?』

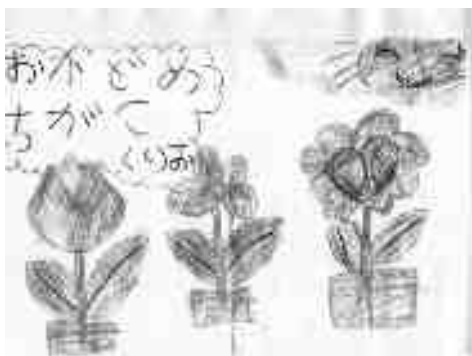
パン工房『?』の利用者の方は現在4名。まったくの素人から始めたパン作りですが、今では20種類を超えるレパートリーがあります。「焼き上げたパンはその日のうちに食べていただく!!」をモットーに日々美味しいパンづくりに取り組んでいます。



木工房『E』

「ごめん、ごめん…」の募金をご存知でしょうか？屋久島の環境保全を図るため、観光客の方々にご協力いただいているものです。その募金活動に協力してくださった方に差上げる記念の絵馬を作っています。機会がありましたら是非手にしてみてください。

屋久の郷では、障害を持った方の利用を募集しています。仲間と一緒に働いてみませんか？ また、ボランティア希望の方も大歓迎です。詳しくは下記までお問合せ下さい。
住所；宮之浦2458番地1（屋久島徳洲会病院裏） 電話（42）0775担当；大山正典



「屋久の郷」には会員の「高見澤信裕さんが」レストランにウエイターとして毎週火・金曜日に働いています。また、スタッフとして「金子ゆかりさん」がパン工房でおいしいパン作りに奮闘しています。宮之浦へ行った折には、「陽だまり」を利用してくださいね。

子持ちギャルの《ひとこま見聞録》

妊婦にはキツか夏じゃった！！ 梅雨明けから盆明けまで全く雨が降らず、台風も来ない！ 夏休みを利用して島に訪れた観光客の方々は、絶対期待していたであろう、潤いを保った深緑色のはずの美しい苔道は、お色気無く黄緑色にパリッパリに乾燥し、あちらこちらから湧き出る山のおいしい水も幻と消え、猿たちは日陰でやる気無くずんだれ、人間の体力も水分も灼熱の太陽にすっかり奪われてしまう、めずらしくドライな屋久島を体験することが出来ましたね！おめでとうございます！

おめでとうと言え、そう、私、また妊娠したんです。7年ぶり4人目の妊娠です。ちなみに長男は18歳で、この夏休みを利用して車の免許を取得しました。その下の長女は12歳で、その下の次男は7歳で、私は38歳。どうしていつも忘れた頃に妊娠するのかな～。早熟な私の血を汲んだ長男に、いつ子どもができてもいいように、「孫のためボックス」というものを準備し、まだ使えそうなおもちゃなどを密かにため込んでいた私ですよ！まさか、それを自分で使用するなんて思いもよりませんでした。そして妊娠は自分はギャルではないことを思い知らさせてくれます。2年前にせつかく手術した右足の静脈瘤が悪化し、足首が紫色になり浮腫み、そこが皮膚炎を起こして、かきこわして血だらけになり、痔でお尻は痛いし、腰は痛いし、かかとは痛いし、恥骨は痛いし。おまけに、かなりの睡眠時無呼吸であり、スグ～いびきで、旦那も必要なとき以外(!?)夜間は私に近寄らない。昼寝をしているときですら、自分の舌がのどに落ち、オエッとなって目を覚ましてしまう。全ての原因は、1人産む度に増え続ける体重にあることは間違いない。あ～私もグラビア写真に載るような、潤いたっぷり、お色気たっぴりのあの頃に帰りた！(たしかそんな時もあったはず...!?) 12月13日が予定日です。チンチンがしっかり見えました。(鈴木裕子)

手をつなぐ育成会便り

毎年、お盆の頃は種子島や鹿児島島の施設に入所している仲間たちが帰省してきます。それに合わせて、在宅の仲間との交流を図るため「親子交歓会」の行事を毎年行っています。今年は安房川で「流れ船」をしました。初めて「流れ船」を体験する子も多く、船に乗ったまま弁当を食べ、魚釣りやカラオケを楽しみ、緩やかなひとときを楽しみました。

種子島の施設に入所している、Hさんは毎回顔を合わすたびに「屋久島に帰りた」と私に話しかけます。今年4月に就労継続支援施設「屋久の郷」が出来て、「屋久島にもようやく働くことの出来る場所が出来てよかったね」と答えるのですが、長年の施設暮らしの間、親は年老いてしまい、今帰ってきて家となる場所がないため、「グループホーム」が必要とされます。



『働く場所と家となる場所、そして受け入れる地域の理解があれば彼は屋久島に帰ってこれます。』 (楯)



大好評！ たんかんジュース 発売中！

屋久島の水と太陽が育てたタンカンを、私達が真心こめて作りました。

1本800円 《会員頒布価格1本500円》
地方発送致します。送料、箱代、振込手数料別)

安房の花火は美しかった



確か、総会の時に「今年はみんなのおうちの資金稼ぎがありますので、安房の夏祭りにも出店します！！」と勢いよく楯さんにいわれてしまって、安房の夏祭り（7/26）と尾之間温泉祭り（8/2）に出店することになりました。「じゃがいものうち」のメンバーは高齢化の一途をたどり2週間続けての出店は厳しいものがありました。当日、2時間ほどじゃがいもの皮をむいて、後は夕方現地集合です。“これで、大丈夫かなあ”といつも心配になります。ところが、こういうイベントの時、「じゃがいものうち」はイベント慣れしているからなのか、細かな打ち合

わせ無しで何故か成功してしまうのです。（もちろん、理事を中心に事前の準備の賜物なのでしょうが・・・）現地集合したら自然と人の配置が決まります。私はじゃがころのソーセージ担当でした。

毎年、安房の花火大会は楽しみで、浴衣を着て見に来ていました。今年はそういう優雅さもなく汗まみれになって、じゃがころのソーセージを炒めていました。8時55分からドーンと花火が始まりました。それから、30分間素晴らしいショーでした。今まで安房の花火を見たことがなかったメンバーは「じゃがころサマサマやわ。こういう機会がなかったら見ることもなかったわ。きれいねえ。」と大感激です。（綿菓子担当の拓也くんはお客が途切れなくてとうとう見られなかったね。）私も花火の素晴らしさに心を奪われました。一緒に汗をかいて、一緒に働いて、一緒に売れ行きを心配して...、そういう仲間と「きれいねえ。」「すごーい！」「キャー！！」と見る花火はまた格別でした。（松本活栄）

今年は夏祭りの連ちゃん。ご協力頂いた皆様、お疲れ様でした。そして売り上げは「みんなのおうち」の運営費に回させていただきます。ありがとうございました。

暑気払い

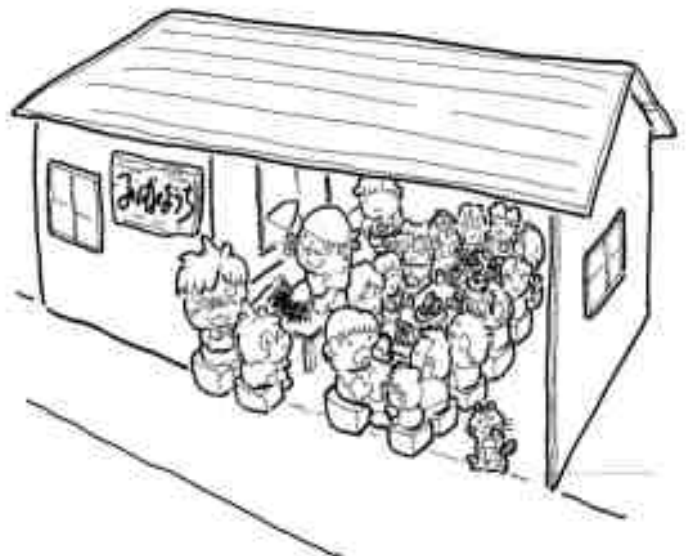
8月最後の週末に「じゃがいものうち」の暑気払いが開かれました。

みんな、この夏のイベント等にそれぞれに頑張りました。その疲れを吹き飛ばし、会員の親睦を兼ねる会でした。

特に「みんなのおうち」を立ち上げる為に動いたメンバーは相当な苦労があったことと思います。その疲れが大きかった分、笑顔と笑い声にあふれていたのではないのでしょうか。そして豪華なメニュー。焼きそば、焼き肉、みんなの持ち寄った一品料理がその場を盛り上げました。その様子を文章にしてくれなんて、なんとゆう無理難題.....。

という訳で、絵を描いてみました。

（山田圭一）



行事予定

隠密豚味噌隊出動！！

今年度事業計画にはあげていない「豚味噌づくり」必要あらばやりましょう。と総会で話しておりました。また前々年度には事業計画に上げておきながらも出来なかったことのリベンジもあり、ふところ事情が寂しい「じゃがいものうち」をなんとか助けたいと決断いたしました。

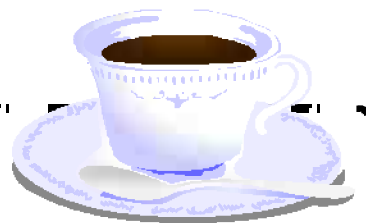
豚味噌を作るならば味噌から作ろう。「じゃがいものうち」独自の美味な豚味噌を安定して生産出来るように、また味噌もオリジナルブランドで販売出来ます。というわけで少し涼しくなった10月に味噌の仕込みを開始します。来年1月には味噌は熟成しますので、その時豚味噌を仕込みたいと思っております。

そこでこの 隠密豚味噌隊員を募集致します。腕に覚えのある方、強い興味をお持ちの方、ただ面白そうという方、会員の有無は問いませんので、ぜひ来て下さい。(楯篤雄)

会費納入のお願い

20年度分会費をまだ納められていない方、ご入金のほどよろしく願いいたします。

喫茶コーナー



喫茶に新人

ふとした縁で、8月から喫茶の部で、月・火を担当させていただく事になりました、安藤と申します。慣れない仕事で、始めは緊張と不安でいっぱいでしたが、今ではいろんな方とお会いし、お話を聞かせていただき、楽しい時間となっています。お客様に「楽しかったよ」とか「また、来るね」と言われた時は、『ホッ!』としますネ。私の顔ですか?一応一通り揃ってはいますが……。興味があったら、ぜひ見に来てください。お待ちしております。(安藤多鶴子)

感謝録 (6月24日~9月16日 敬称略)

いつもご支援、ご協力ありがとうございます。

じゃがいものうちへの寄付

鈴木裕子 平瀬恵子 神崎孝行 清田かおり 山田由紀子 長瀬富美子 岩川絹子 石川美那子
西森利江 日高弘子 松本裕子 飯田かおる 大原貞子 中村円 小川裕子 日高幸子
後藤田由利美

みんなのうちにの寄付

藤村憲治 戸床マサ子 高山正文 木下忍 岩川澄代 大嶋悦子 スケッチライフ 市地春彦
川上雄治 日高典子 畑下和子 谷本正和 原区 原区村づくり委員会 神山校区区長会 小島区
屋久島徳洲会病院 野の花 ひまわり ちひろの里 尾之間診療所 岩川絹子 沼田澄江 岩川ミヤ
桑山善右衛門 長瀬富美子 江崎重明 守屋允子 高田勝子 日高弘子

編集後記

台湾で長居した台風13号がそのまま大陸の方へ去って行くだろうと安心していたら、なんと屋久島近海をゆっくりと北上しています。おかげで発行日を1日延期することになりました、通信を発行し始めて早10年、初めての出来事でした。物事も雨、風、強く思い通り行かないことは今後も起って来ますが、どんな時も目的を忘れずに足元をみて一步一步進んで行きたいですね。(楯)